



DNW-21004 の概要

課題名 : 人工転写因子を用いた難治性がんの革新的治療法の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

世良 貴史 (国立大学法人岡山大学)

学術研究院ヘルスシステム統合科学学域)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

がん

【創薬標的】

遺伝子 X

【創薬コンセプト】

特定遺伝子のプロモーターに結合できる人工 DNA 結合タンパクから構成される人工転写因子を用いた、疾患特異的遺伝子 X の転写調節による新たながん治療薬

【モダリティの設定】

タンパク質

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- ・ SOX2 対応人工転写因子搭載アデノウイルスベクターを SOX2 発現型肺扁平上皮がん株 (EBC2) と 1 日培養した。当該細胞をマウスに皮下投与したところ、投与後 39 日段階で腫瘍増殖が観察されなかった。

【支援ステージにおける目標】

遺伝子 X 選択的人工転写因子を作製し、腫瘍移植モデルを用いて抗腫瘍効果を確認する。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。